

① 金子台遺跡 ストーンサークル



出土品は、縄文時代後期の
 加曾利B式土器を中心に
 打製石斧、磨製石斧、石皿
 などがあります。

町指定重要文化財 ストーンサークル 昭和48年8月28日指定

金子台遺跡は縄文時代中期および後期・晩期の遺跡です。

ここが遺跡であることが分かったのは昭和37(1962)年に、企業の建設に伴う大規模な事前調査が行われ、地面から60cm掘り下げた所から大小25基もの、いろいろな組石が置かれているのが見つかりました。

これはストーンサークル(環状列石)といわれ、地面に穴を掘って遺体を納めた後に、地上に複数の石を並べた、約3500年前(縄文時代後期)の人たちの共同の墓地と思われる。

また、墓地の東には、同じ時期の住居跡が見つかっており、住む場所と墓地を区別して作っていることから、本格的な墓地の形成を知る上でも重要な遺跡として知られています。



敷石住居跡 町指定重要文化財
 昭和46年7月24日指定